

対象国の条件:

研修コース番号:(A)201984961-J002/(B)201984962-J002

案件番号:(A)201984961/(B)201984962

主分野課題:農業開発/水産

副分野課題:

使用言語:(A)英語/(B)仏語

案件概要

貧困削減と食料安全保障への小規模漁業の貢献は、国際的に注目されている。日本の沿岸漁業は、多数の小規模漁業者により多魚種漁業が行われ、水揚げ場所が分散しているという点で途上国と類似している。また、漁協が行政と共同で生計向上と漁業管理を行い、沿岸漁業の収益性と持続性を高めてきた経験を有している。本研修は日本及び他の研修員の国の事例から自国の小規模漁業振興に有用な知見を抽出し、活用できるように構成されている。

目標/成果	対象組織/人材
<p>【案件目標】 食料安全保障及び貧困撲滅のための持続可能な小規模漁業の確立に必要な計画を作成し、実施する</p> <p>【成果】 1) 小規模漁業の現状・課題が理解できる 2) 上記の対応について、日本の経験が理解できる 3) 上記対応のための事業の計画、実施、評価の手法が理解できる</p>	<p>【対象組織】 水産行政機関(国、地方) 水産技術・調査機関(国、地方) 漁民組織</p> <p>【対象人材】 職位:小規模漁業の漁業管理、漁民の生計向上、漁民組織設立強化に従事する者 職務経験:3年以上 学歴:大学卒業同等以上 語学:英語または仏語で議論し、レポート作成が可能なレベル</p>

内容	本邦研修期間
<p>以下の内容の講義、視察、演習、討論を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の小規模漁業の現状、課題、可能性 日本の漁業管理制度 資源管理型漁業 行政の役割、監督・支援 漁協の組織と事業 貯蓄・信用・保険(共済)制度 加工、流通、販売 収入の多角化 労働衛生と海上安全 ジェンダー平等 事業の計画、実施、評価(PCM, RRA) 	<p>(A)2020/3~2020/4 (B)2019/8~2019/10</p>
	<p>担当課題部 農村開発部</p>
	<p>所管国内機関 (A)JICA横浜 (B)JICA横浜</p>
	<p>関係省庁</p>
	<p>実施年度 2018~2020</p>

主要協力機関 (A)調整中/(B)調整中

特記事項及びホームページ